



# 2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社イントラスト  
〈証券コード：7191〉



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1. 2021年3月期 第1四半期 業績**
- 2. 2021年3月期 会社計画**
- 3. 会社情報**

# 1. 2021年3月期 第1四半期 業績

## コロナウイルスの影響について

### 2020年3月末時点

2020年3月期の影響は軽微も、緊急事態宣言に向けた運用体制の整備に加え、将来の貸倒れの増加リスクへの対応として引当金を積み増し

### 今期計画の前提

#### 売上

外出自粛に伴う営業活動の遅れ、引越し件数の減少を見込む

#### 貸倒れリスク

滞納率や回収への影響で貸倒＋保証履行引当金の増加を見込む

#### 社内体制

テレワークや時差出勤の実施による業務分散の影響を見込む

### 1Qの状況

#### 売上

医療/介護は営業活動に一部遅れ  
医療はコロナウイルス感染拡大以前の営業活動が奏功し売上増  
引越しへの影響は軽微

#### 貸倒れリスク

足元での家賃の滞納発生率や回収率は想定の範囲内で推移

#### 社内体制

Web会議システムを活用  
テレワークや時差出勤は一部継続

売上は前期比**119.7%**の増収  
営業利益は**117.7%**の増益

保証事業が好調に推移し売上が増加  
費用増加もある程度抑制でき  
コロナウイルス感染拡大の状況下で  
増収増益を達成

(百万円)	2019/6 (前期)	2020/6 (今期)	(前期比)
売上高	845	<b>1,012</b>	119.7%
営業利益	238	<b>280</b>	117.7%
(利益率)	28.2%	<b>27.7%</b>	-
経常利益	238	<b>281</b>	118.0%
(利益率)	28.2%	<b>27.8%</b>	-
純利益	153	<b>184</b>	120.2%
(利益率)	18.1%	<b>18.2%</b>	-

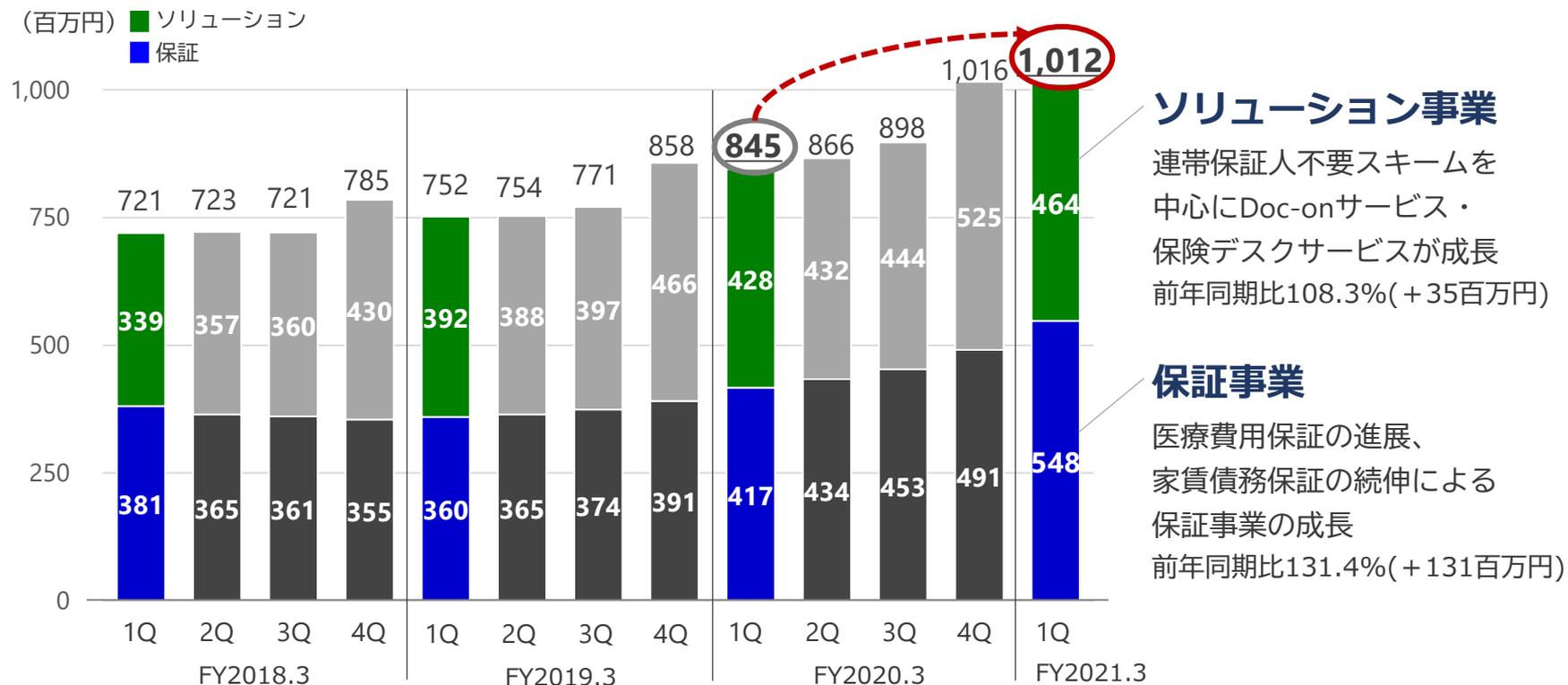
第1四半期は順調に進捗

現時点では  
年間の計画に変更なし

(百万円)	2020/6 (実績)	上期 (計画)	上期 進捗率	2021/3期 (計画)	年間 進捗率
売上高	<b>1,012</b>	2,030	49.9%	4,250	23.8%
営業利益	<b>280</b>	502	55.9%	1,100	25.5%
(利益率)	<b>27.7%</b>	24.7%	-	25.9%	-
経常利益	<b>281</b>	503	56.0%	1,103	25.5%
(利益率)	<b>27.8%</b>	24.8%	-	26.0%	-
純利益	<b>184</b>	336	54.8%	740	24.9%
(利益率)	<b>18.2%</b>	16.6%	-	17.4%	-

## 保証/ソリューションの双方で売上増

前年同期比119% (+167百万円)



# 営業利益の増減分析(対前期)



## 増収および継続的業務改善が増益をリード 戦略的な費用投下も継続

### 業務委託手数料

家賃債務保証の増収に連動し増加

### 保険料(保証関連原価)

医療費用保証の増収に伴い増加

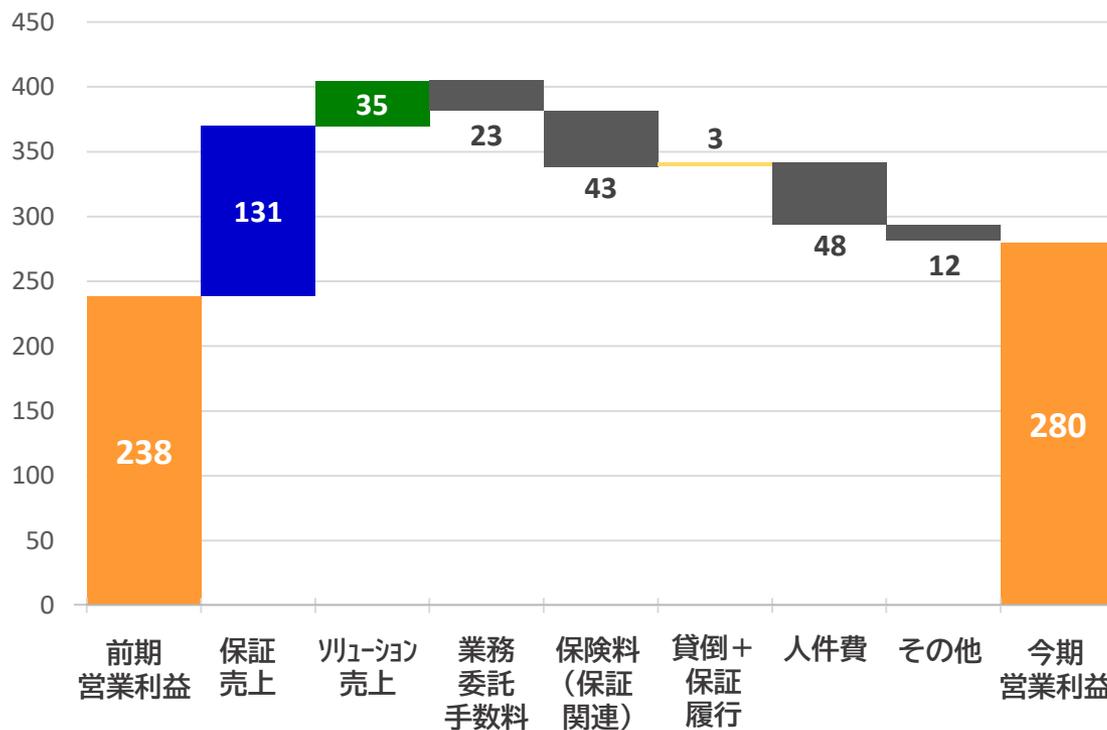
### 貸倒+保証履行

コロナウイルス状況下でも  
昨年より低く推移

### 人件費

会社全体の体制増強により増加

(百万円)

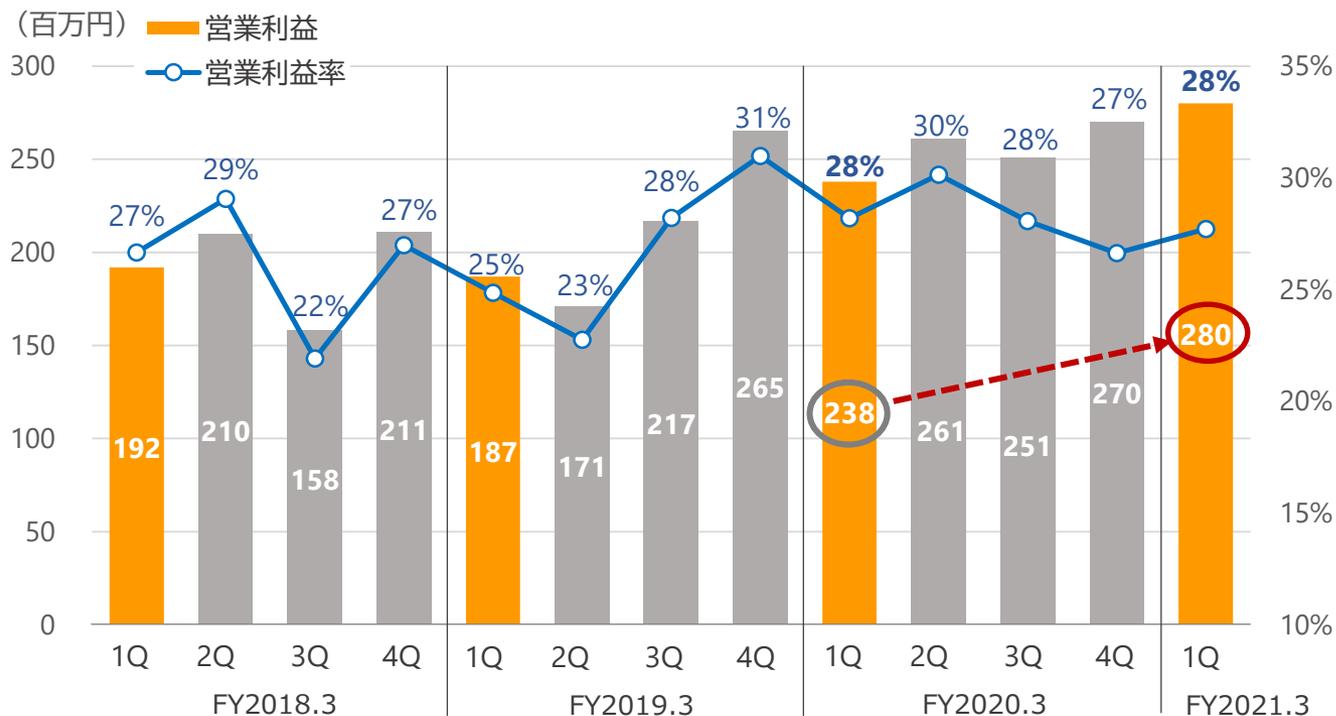


## 営業利益は堅調に推移（営業利益率：28%）

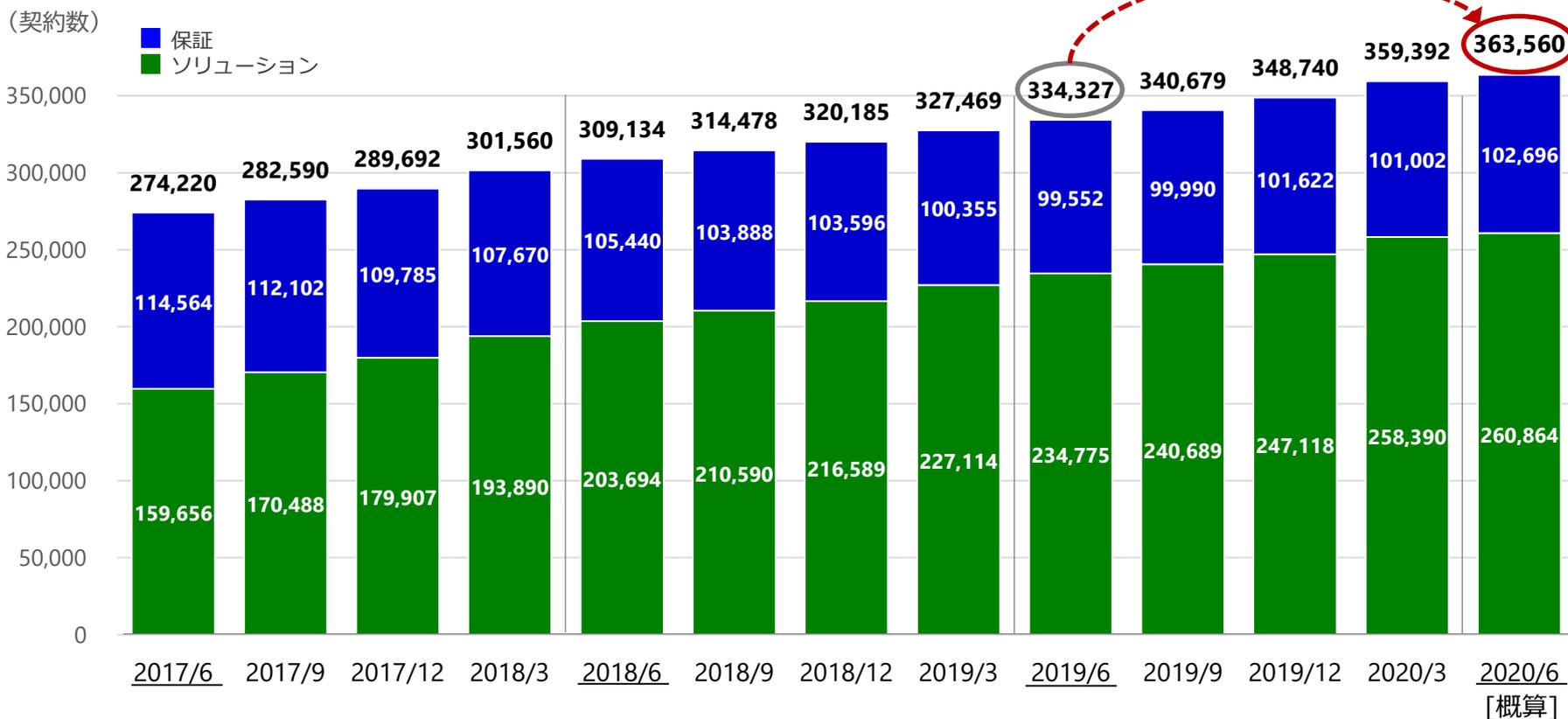
売上は順調に増加

家賃の滞納発生率や回収率は想定の範囲内で推移

その他費用の増加は抑制



## 創業以来、保有契約件数は着実に積み上がる（家賃債務保証分野）



## 市場浸透が進み、売上は大幅増 連帯保証人代行制度スマホス<sup>※</sup>が成長を牽引

(百万円)

### 提携先データ

#### 連帯保証人代行制度スマホス

45 医療機関(対前期末+28)

14,484 病床数

#### 医療費用保証付き入院セット

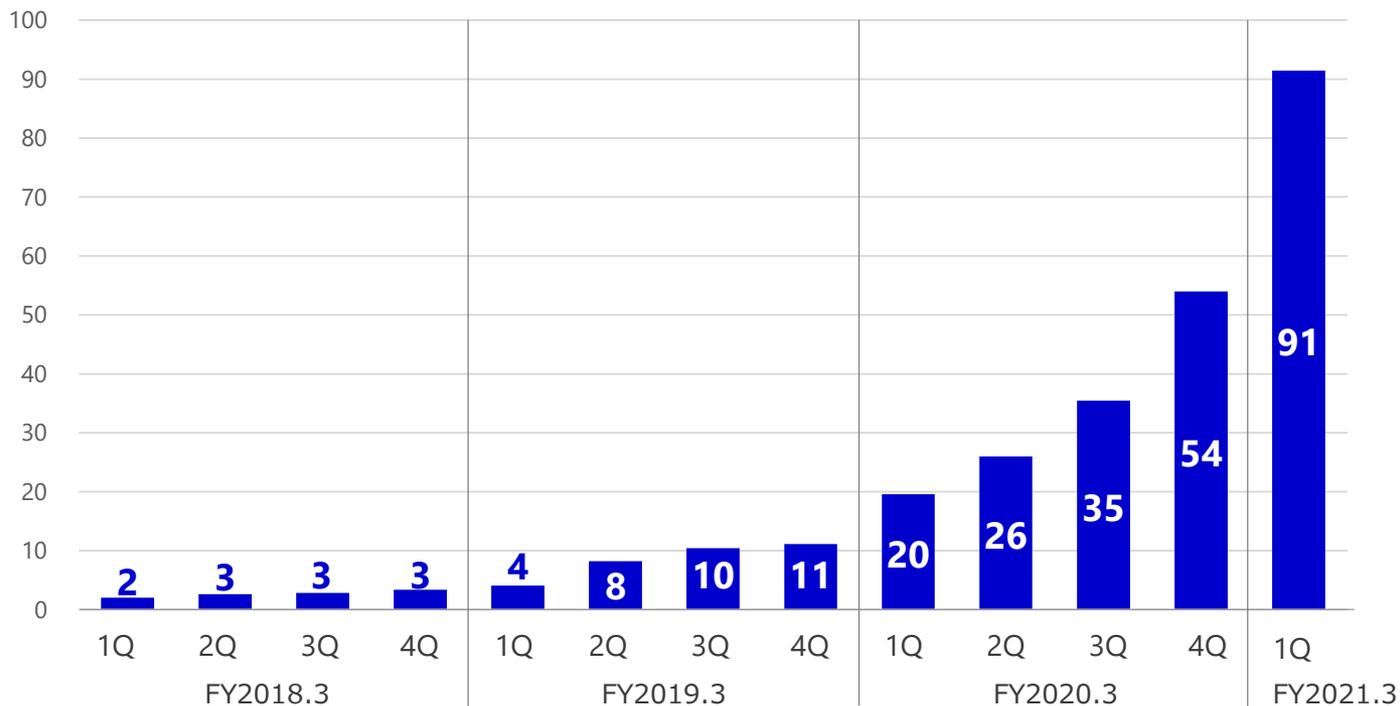
およびその他商品

119 医療機関(対前期末+10)

24,685 病床数

#### 介護費用保証

181 介護事業者(対前期末+8)



※「連帯保証人代行制度スマホス」は保証料病院負担型の医療費用保証商品

## その他財務データ(貸借対照表)

事前立替型の商品拡販により想定内で立替金増加も、  
資金管理の徹底により、現金及び預金は積み上がり  
無借金、盤石な財務体質を堅持

(百万円)	2019/6 (前期)	2020/6 (今期)	増減額
流動資産	3,659	<b>3,942</b>	283
現金及び預金	2,862	<b>2,801</b>	-61
売掛金	166	<b>204</b>	38
立替金	856	<b>1,170</b>	314
その他	242	<b>258</b>	16
貸倒引当金	-467	<b>-492</b>	-24
固定資産	363	<b>687</b>	323
有形固定資産	62	<b>55</b>	-7
無形固定資産	68	<b>201</b>	133
投資その他の資産	232	<b>430</b>	197
流動負債	1,025	<b>1,129</b>	104
内・前受収益	681	<b>738</b>	56
内・保証履行引当金	78	<b>84</b>	6
固定負債	58	<b>46</b>	-11
純資産	2,939	<b>3,453</b>	514
総資産	4,023	<b>4,630</b>	607

## 2. 2021年3月期 会社計画

売上は2020年3月期の増収トレンドを継続

利益面は、基幹システム入替及びコロナウイルスの影響を加味し、利益率は低下を見込

(百万円)	2020/3期 (実績)	2021/3期 (計画)	(前期比)	上期計画
売上高	3,626	<b>4,250</b>	117.2%	2,030
営業利益	1,021	<b>1,100</b>	107.6%	502
(利益率)	28.2%	<b>25.9%</b>	-	24.7%
経常利益	1,026	<b>1,103</b>	107.5%	503
(利益率)	28.3%	<b>26.0%</b>	-	24.8%
純利益	687	<b>740</b>	107.6%	336
(利益率)	19.0%	<b>17.4%</b>	-	16.6%

## 2020年3月期の増収トレンドを堅持しつつ、 2021年3月期も引続き売上目標を達成させる

### ソリューション事業

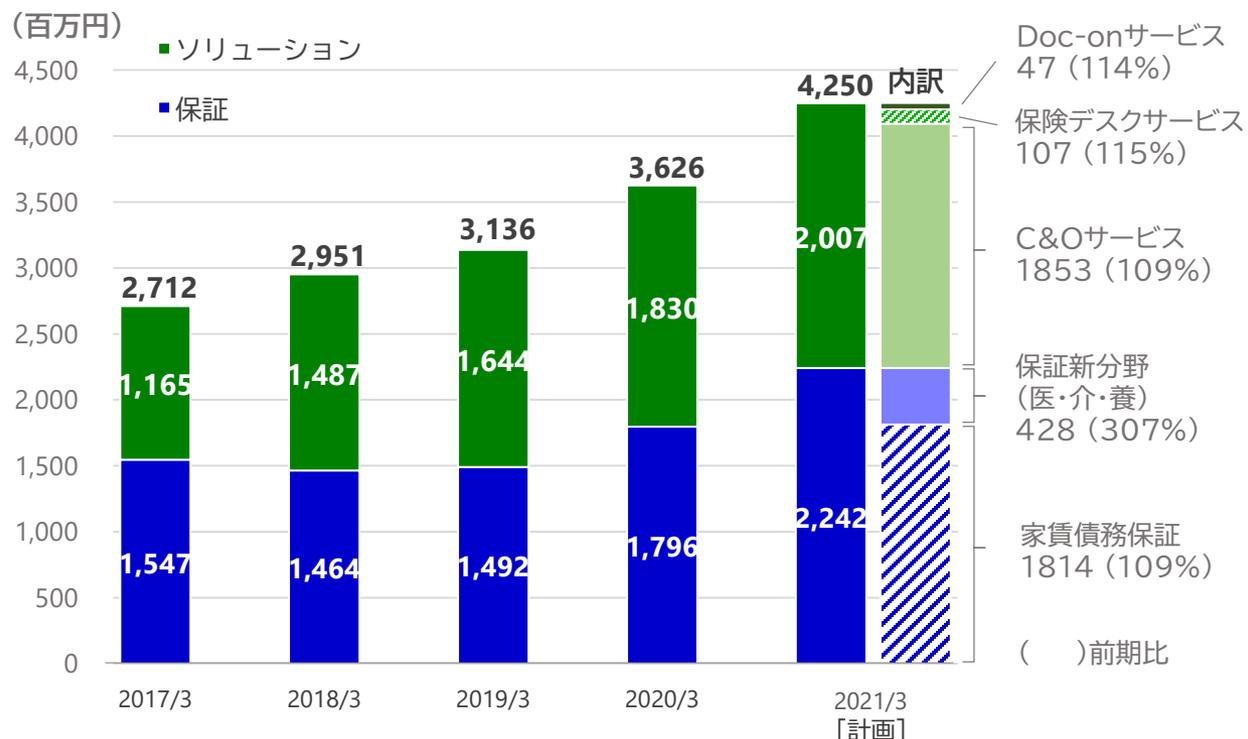
連帯保証人不要スキームや  
入居申込マネジメント業務など  
C&Oサービスを中心に伸ばす

保険デスクサービスは少額短期保険  
件数を増加させる

### 保証事業

医療/介護は民法改正を追い風に  
大幅増を目指す

養育費は投資を確実にいき、医療に  
続き、新たなマーケット創造を狙う



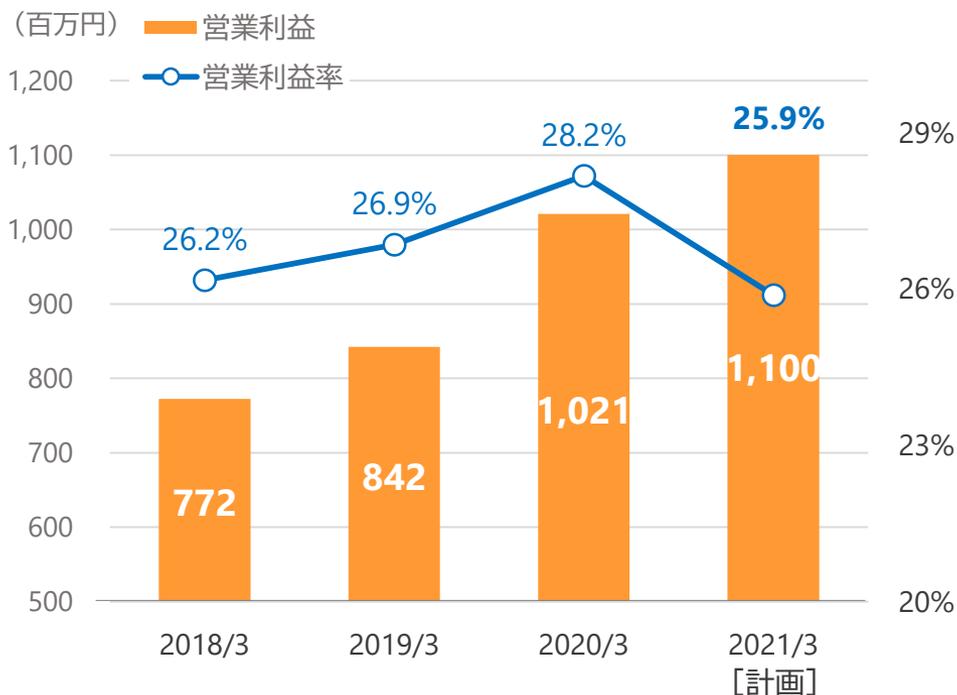
## コロナウイルスの影響も加味し、引き続きシステム投資など先行投資を行いながらも継続的な利益成長

### 先行投資による費用影響

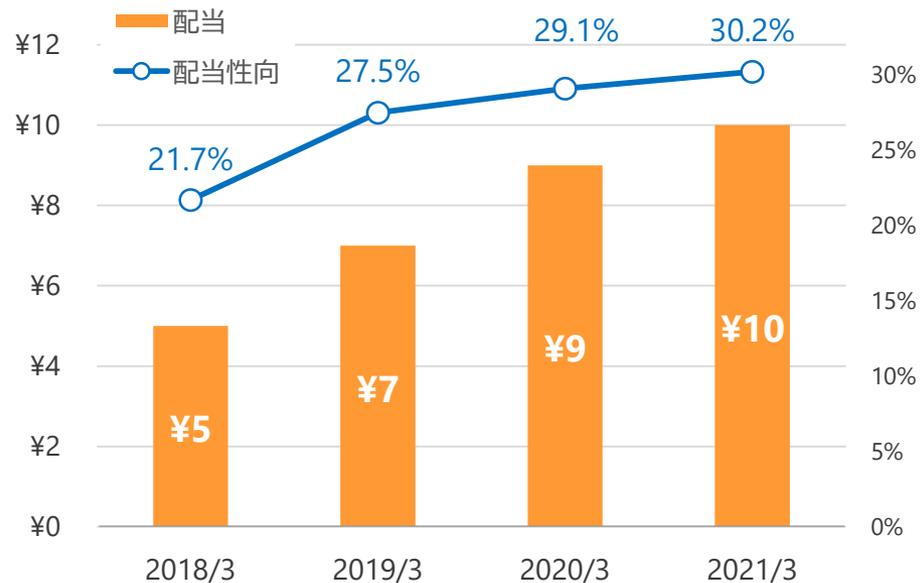
- 新基幹システム導入によるコスト  $\Delta$ 55百万
- システム入替による移行費用  $\Delta$ 18百万
- 養育費保証への先行投資  $\Delta$ 18百万

### コロナウイルス関連の影響見込

- 引越し件数の減少や営業活動の遅れ、貸倒リスクの増加などの利益面の影響見込  $\Delta$ 47百万



## ※ 配当は株主への還元方針に基づき10円を計画



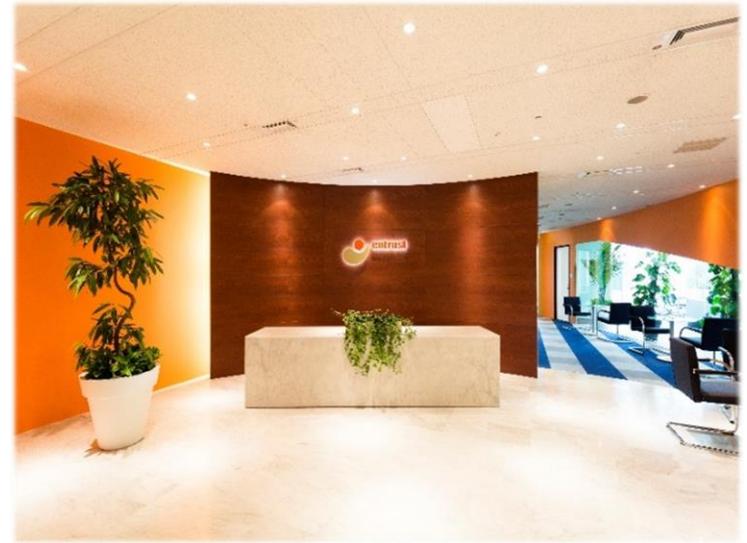
※配当性向30%以上を達成

## 3. 会社情報

## 会社概要 (2020年6月末時点)



- 会社名 : 株式会社イントラスト
- 設立年月日 : 2006年3月
- 資本金 : 10億40百万円
- 決算期 : 3月
- 代表取締役 : 桑原 豊
- 本社所在地 : 東京都千代田区麹町1-4
- 主な拠点 : 秋田、仙台、富山、名古屋、大阪、福岡、  
横浜ソリューションセンター
- 従業員数 : 115名
- 事業内容 : 保証事業・ソリューション事業



## 様々なニーズにオーダーメイドのサービスで応える

### 保証事業

リスク+サービスのセットを保証として提供



### ソリューション事業

保証に関わる専門性をサービスとして提供

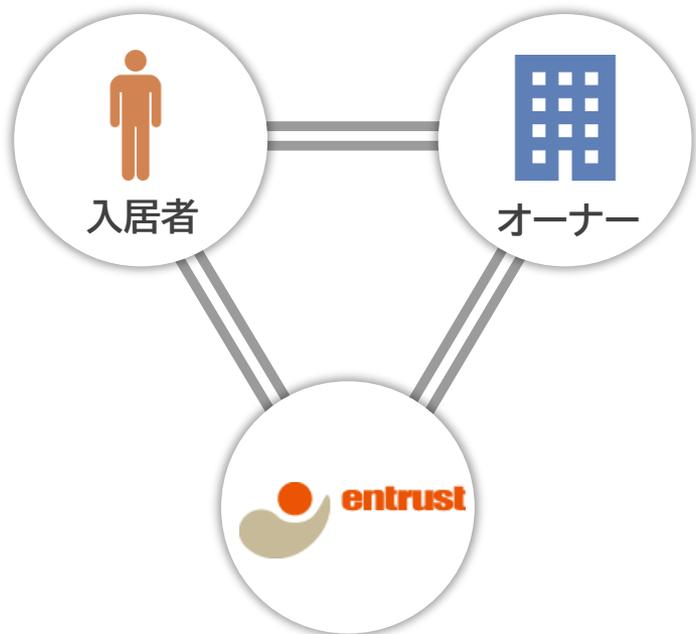
膨大な  
マーケット



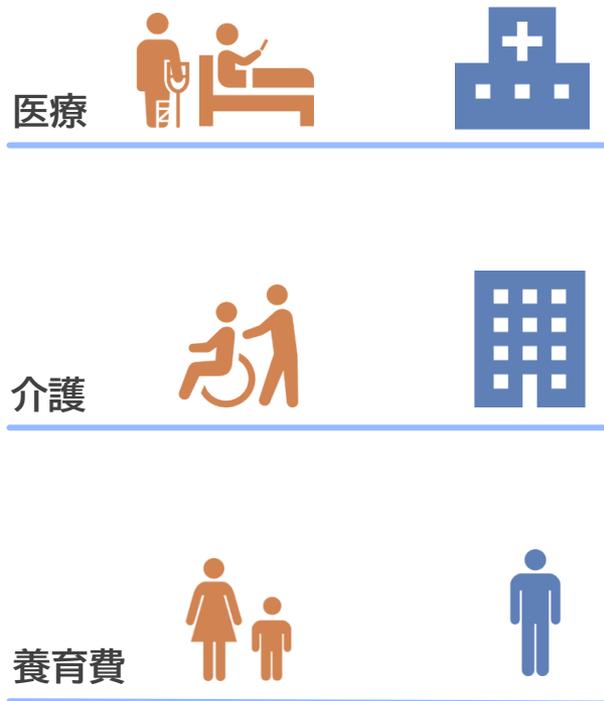
# 保証事業

債権の滞納リスクを引き受け、保証に係る各種サービスを提供

例えば  
家賃債務保証



他事業  
へ展開



## ソリューション事業

家賃債務保証で培ったノウハウで独自の業務支援サービスを提供



固有の顧客ニーズに対して  
専門サービスで解決する

イントラストは保証スキームで社会インフラを  
提供しサービスと流通の活性化を実現します

株式会社イントラスト



資料中の業績見通しに関する記述は現時点における情報に基づき判断したものであり、実際の業績はさまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等があります。

本資料に関するご意見・ご質問、及びその他IRに関するご意見・ご質問は下記窓口までお問い合わせください。

問合せ窓口：株式会社イントラスト IR  
Email： [ent-ir@entrust-inc.jp](mailto:ent-ir@entrust-inc.jp)